

**平成29年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河南中学校長

平成29年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学の2教科の実施となりました。

国語と数学の2教科で、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	77.4%	○				
国語B	72.2%	○				
数学A	64.6%	○				
数学B	48.1%	○				

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	75.4%	○				
書くこと	85.7%	○				
読むこと	73.8%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.2%	○				

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」については、話し合いの活動の際に、相手の意見を取り入れて自分の考えを広げたり、相手にわかりやすい語句を選択して話したりする表現活動が不足していると考えられます。今後は相手を意識した話や要点を聞き取り考えを広げる活動に力を入れて指導していきます。
- 「書くこと」については、文章の構成や語句の使い方を工夫をする力が不足していると考えられます。今後は、語句の効果的な使い方やわかりやすい表現にするための推敲を重ねさせることで、力をつけていきます。
- 「読むこと」については、文章の要旨をとらえ自分の考えを持つ力が不足していると考えられます。今後は読み深めの時間の確保や表現の工夫の指導を繰り返して行っていきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、語句の意味を理解し適切に使用し、正しく書く力が不足していると考えられます。今後は意味調べや漢字学習への取り組みにさらに力を入れていきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.4%	○				
書くこと	60.8%	○				
読むこと	72.1%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	41.4%	○				

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」については、資料の活用や伝わりやすく工夫する点は全国平均を上回りましたが、話の論理的な構成や展開については低い結果でした。話を伝えるときには、論理的に文章を構成させる経験を積ませて力を伸ばしていくよう努めていきます。
- 「書くこと」については、スピーチの内容に意見をもつことと事実と意見を読み分ける問題は、全国平均を上回りました。抽象的な物事を捉え、意見を書く力が不足しているため、多様な表現にふれ、意見をもたせる指導に力を入れていきます。
- 「読むこと」については、読解力が不足しています。表現の意図や文章中から根拠を読み取る練習を重ね、確実な理解を図れるよう努めていきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、語句の意味を理解し自分の考えを表現する力が不足しており、無回答もありました。既習事項を確認しながら、比喩や反復などの表現の技法を活用できる力の向上を図っていき

ます。

【数学A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

数と式	70.4%	○				
図形	66.0%	○				
関数	57.4%	○				
資料の活用	57.6%					○

【考察】

- 「数と式」領域については、一次方程式や連立方程式を解くことについて全国を上回る正答率であり、授業や家庭学習での反復練習が効果的だったと考えられます。しかし、数量の関係を文字式に表したり文字式の意味を読み取ったりする問題は全国より下回っています。今後は、日常生活の中の具体的事象と関連させる学習を増やしたり、既習事項の復習も取り入れたりしながら、確実な理解に努めてまいります。
- 「図形」領域については、平面図形の基本的な性質や移動についての問題は全国を上回る正答率であり、基本的な知識や技能を大切に学習してきた成果が現れましたが、立体の見方や証明の根拠となることからの理解は不十分でした。いろいろな見方についての問題練習に多く取り組ませ、図形についての見方や考え方が深められるよう努めていきます。
- 「関数」領域については、関数の意味や二次方程式のグラフについては全国を上回る正答率ですが、具体的な事象を式で表す問題の正答率は低い結果でした。日常生活の場面と関連させる学習を増やし、関係式の有用性とその活用力の向上を図っていきます。
- 「資料の活用」領域については、全国の正答率を上回りました。しかし、確率の計算については補充が必要と考えますので、復習を取り入れながら確実な理解と十分な問題練習に取り組ませていきます。

【数学B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	46.3%	○				
図形	47.1%	○				
関数	50.8%	○				
資料の活用	49.1%	○				

【考察】

- 与えられた情報や事象の中から必要な部分を適切に読み取ったり、筋道を立てて説明したりする力が不足し、記述式の問題では無解答が多く見られます。今後は、与えられた情報や事象の中から必要な部分を適切に判断し読み取れる読解力向上を目指してまいります。
- 筋道を立てて説明したりする力を養うために、日々の授業の中で根拠にもとづいて考え、理由を説明する活動を充実させ、学習した内容を活用して説明できる力を伸ばせるように努めてまいります。